

令和6年度
草津市のまちづくりについての
市民意識調査結果報告書

草津市

目 次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者属性	2
①性別	
②年齢	
③居住年数	
④転入歴	
⑤居住地区	
(2) 基本方針別にみる満足度評価	5
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
⑥第6次草津市総合計画第2期基本計画において新たに設定する基本方針	
(3) 基本方針別にみる重要度評価	11
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
⑥第6次草津市総合計画第2期基本計画において新たに設定する基本方針	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度	17
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
⑥第6次草津市総合計画第2期基本計画において新たに設定する基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動など	22
①まちの住み心地など	
②日常の生活行動など	
③市民であることの誇りや定住意向	
(6) S D G s（持続可能な開発目標）	26
S D G s（持続可能な開発目標）の17の目標への関心	

1. 調査概要

【調査目的】

令和 3 年度から開始した第 6 次草津市総合計画第 1 期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすることを目的とする。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳の 18 歳以上の者から、年齢、居住地域の 2 段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：令和 6 年 9 月 1 日（日）

【調査方法】

調査は無記名とし、令和 6 年 10 月 1 日（火）から 10 月 21 日（月）までを調査期間として、郵送およびインターネットにより実施した。

【回収状況】

有効回答数 795 件、有効回答率 26.5%を得た。有効回答のうち、紙の調査票による回答が 464 件で 58.4%、ネットによる回答が 331 件で 41.6%であった。

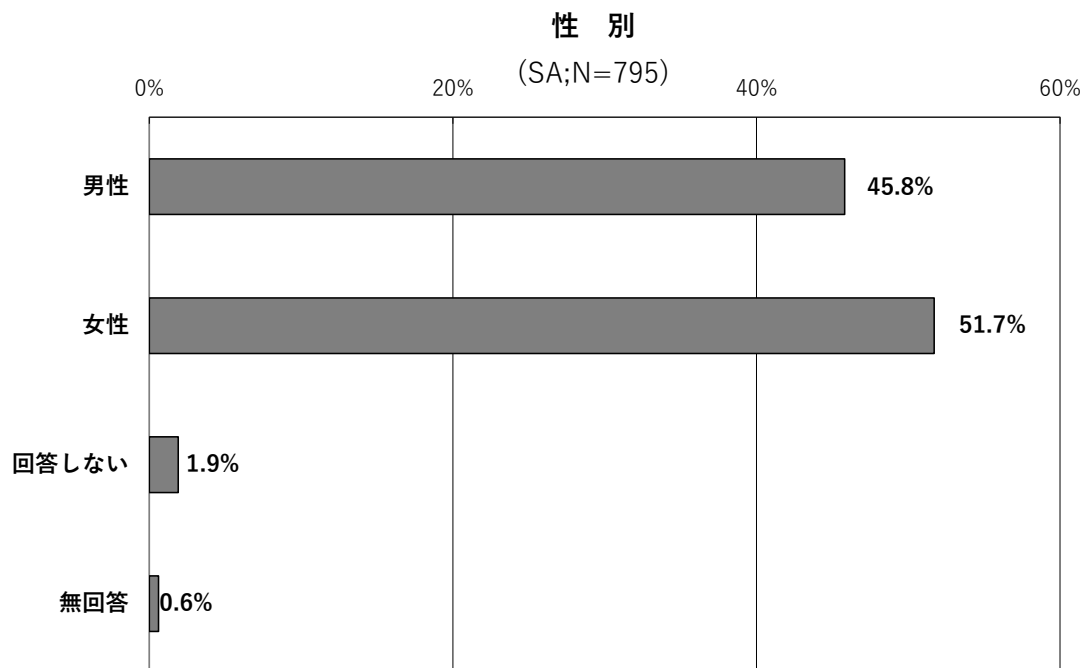
調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答（N）を基数として算出している。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

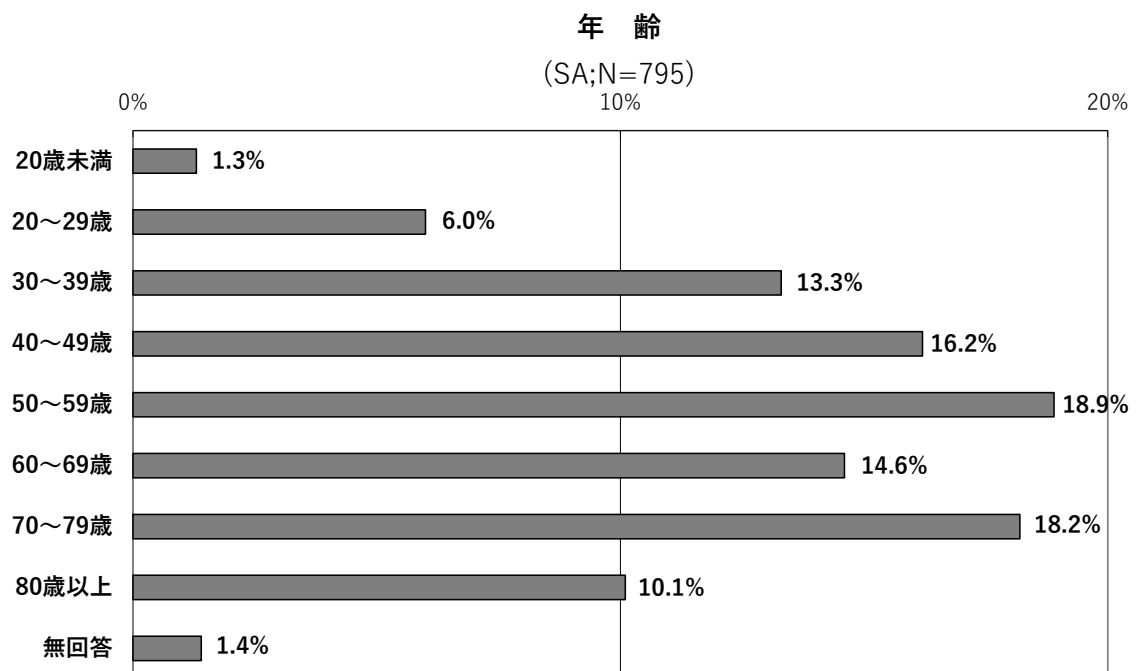
①性別

「男性」が45.8%、「女性」が51.7%、「回答しない」が1.9%となっています。



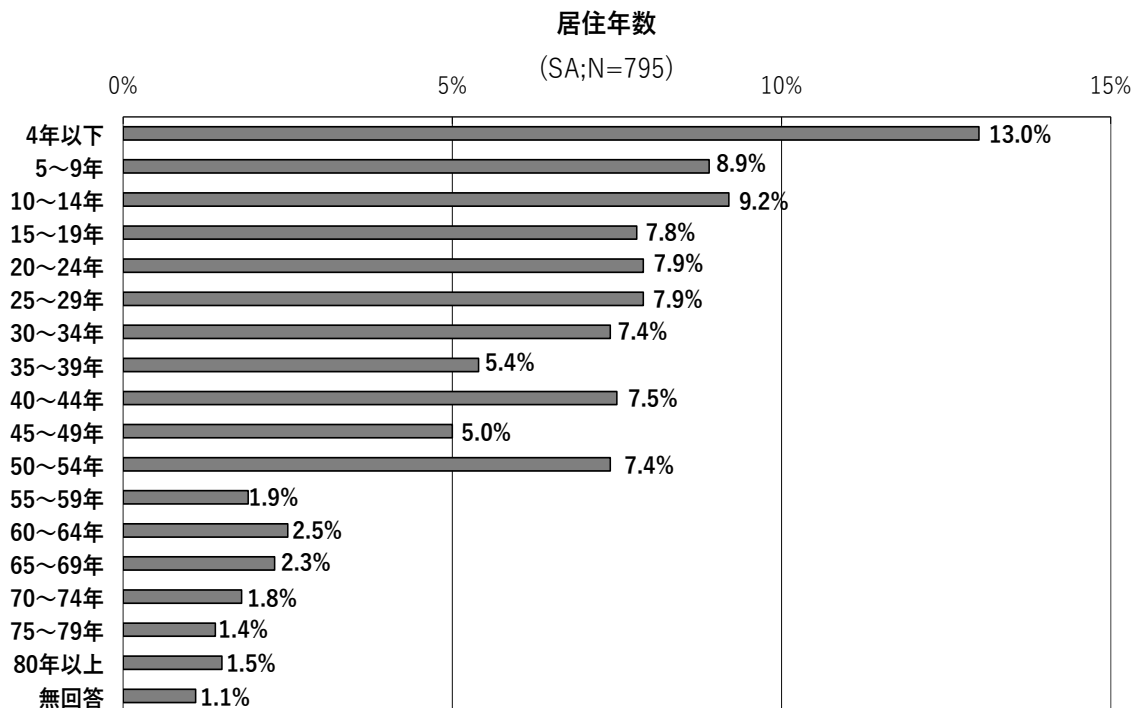
②年齢

「50～59歳」が最も多く18.9%、次いで「70～79歳」が18.2%、「40～49歳」が16.2%などとなっています。



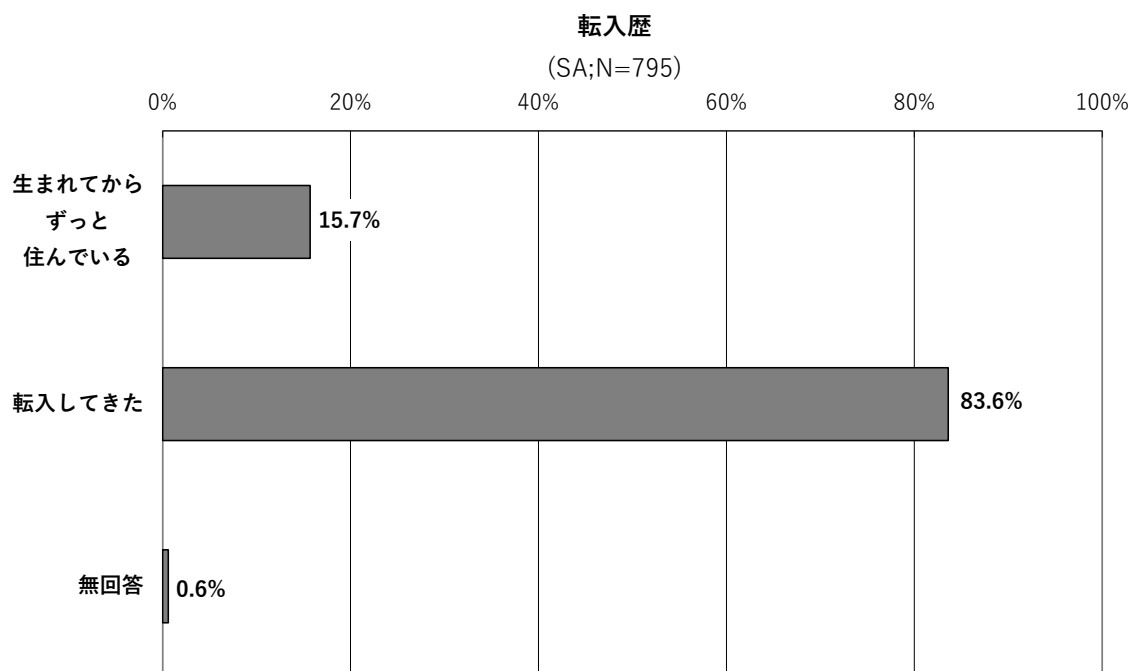
③居住年数

「4年以下」が最も多く13.0%、次いで「10～14年」が9.2%、「5～9年」が8.9%、「20～24年」と「25～29年」が7.9%などとなっています。



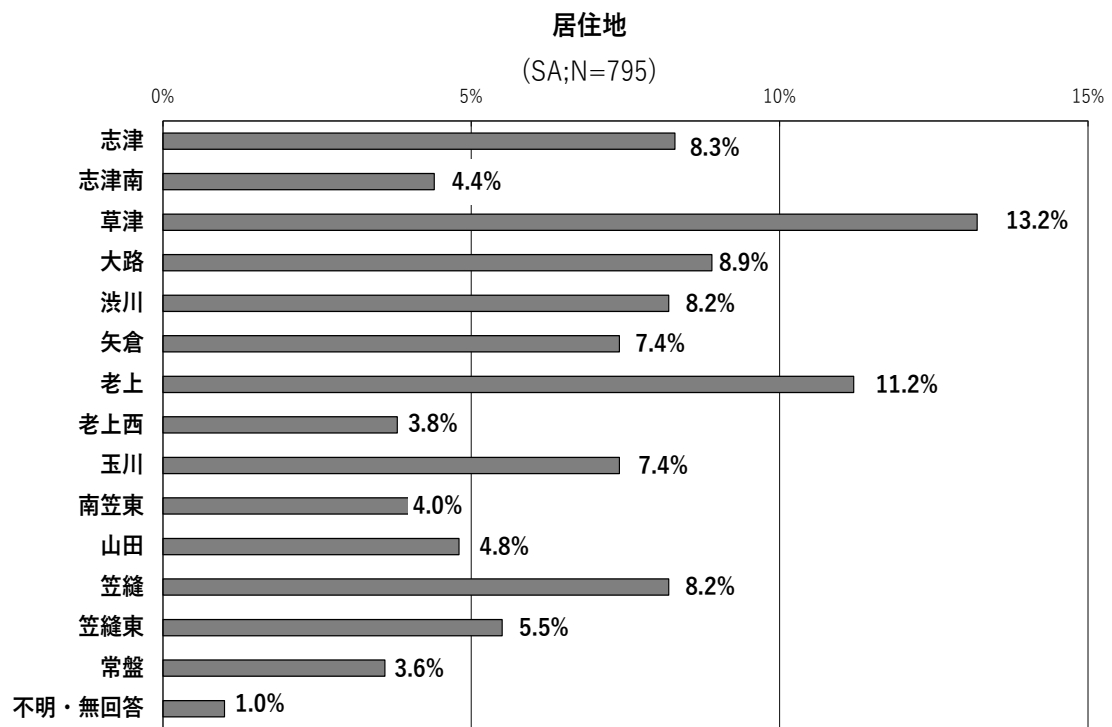
④転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が15.7%、「転入してきた」が83.6%となっています。



⑤居住地区

「草津」が最も多く 13.2%、次いで「老上」が 11.2%、「大路」が 8.9%などとなっています。



(2) 基本方針別にみる満足度評価

①「こころ」育むまちの基本方針

「満足」は「人権の尊重」が最も多く 14.2%、次いで「スポーツの充実」が 10.6%などとなっています。

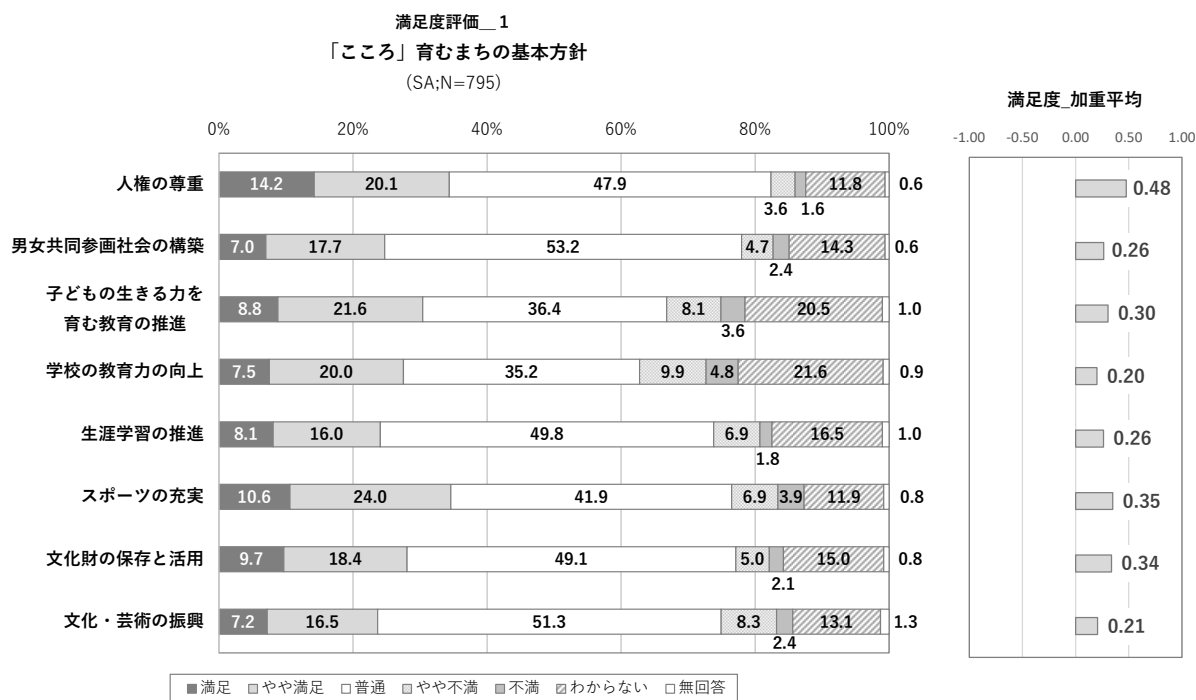
「やや満足」は「スポーツの充実」が最も多く 24.0%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 21.6%などとなっています。

「普通」は「男女共同参画社会の構築」が最も多く 53.2%、次いで「文化・芸術の振興」が 51.3%などとなっています。

「やや不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 9.9%、次いで「文化・芸術の振興」が 8.3%などとなっています。

「不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 4.8%、次いで「スポーツの充実」が 3.9%などとなっています。

「わからない」は「学校の教育力の向上」が最も多く 21.6%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 20.5%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評価点を与えて平均点を求めたものである。

②「笑顔」輝くまちの基本方針

「満足」は「医療保険制度の適正運用」が最も多く 11.8%、次いで、「市民の健康づくり」が 11.4%などとなっています。

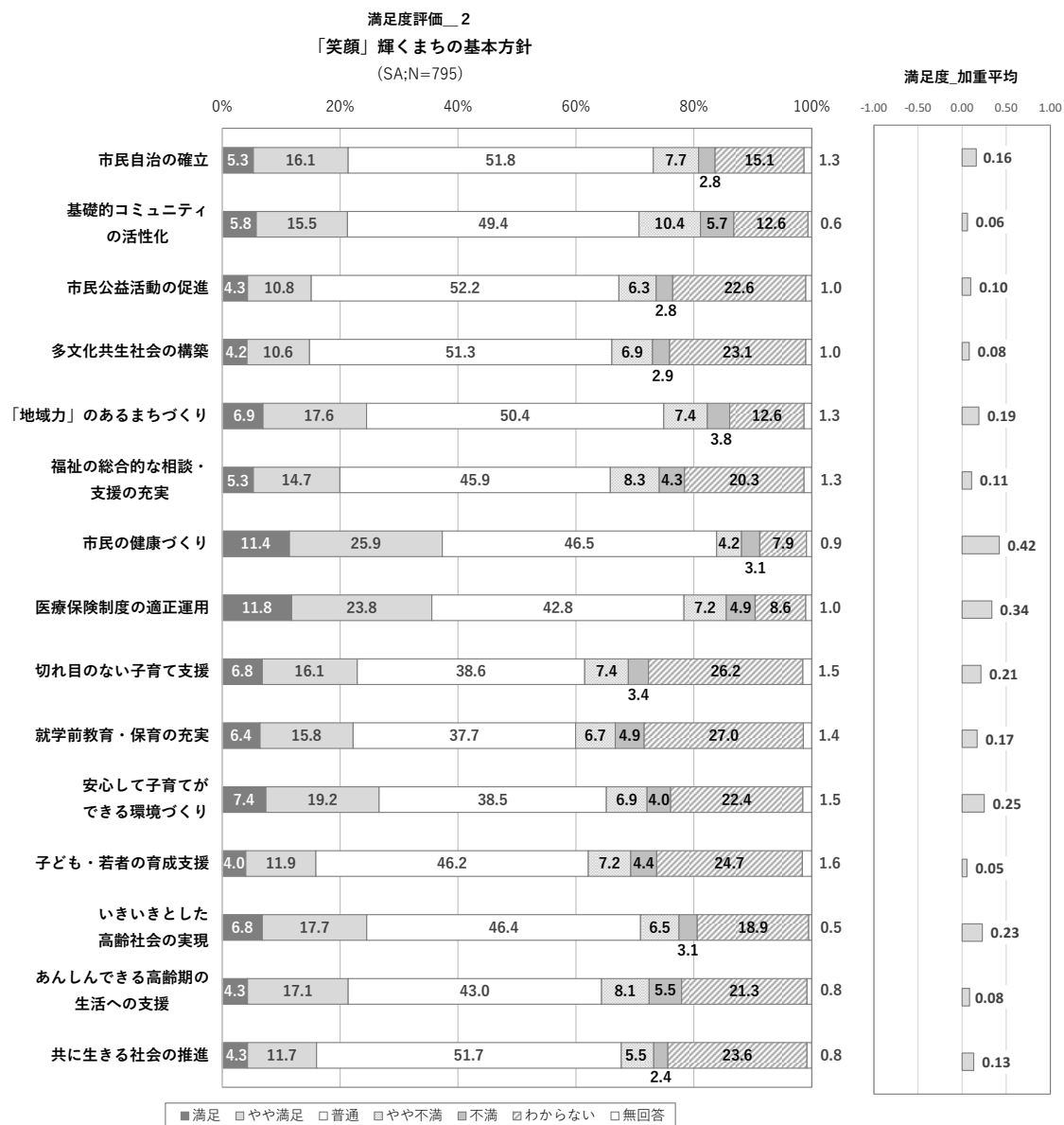
「やや満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 25.9%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 23.8%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 52.2%、次いで「市民自治の確立」が 51.8%などとなっています。

「やや不満」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く 10.4%、次いで「福祉の総合的な相談・支援の充実」が 8.3%などとなっています。

「不満」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く 5.7%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が 5.5%などとなっています。

「わからない」は「就学前教育・保育の充実」が最も多く 27.0%、次いで「切れ目のない子育て支援」が 26.2%などとなっています。



③「暮らし」支えるまちの基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く 21.3%、次いで「下水道の安定運営」が 17.9%などとなっています。

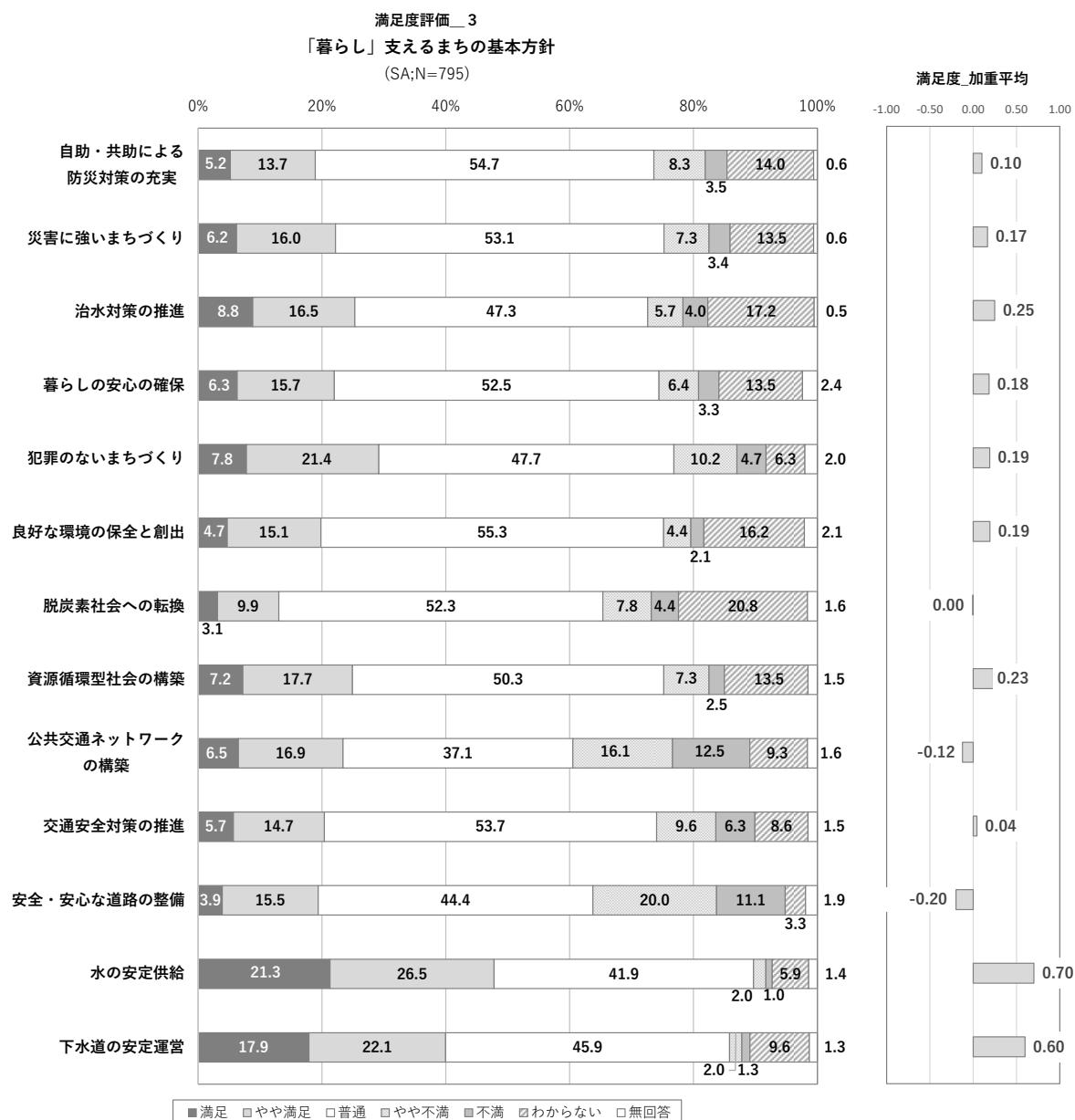
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く 26.5%、次いで「下水道の安定運営」が 22.1%などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 55.3%、次いで「自助・共助による防災対策の充実」が 54.7%などとなっています。

「やや不満」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 20.0%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 16.1%などとなっています。

「不満」は「公共交通ネットワークの構築」が最も多く 12.5%、次いで「安全・安心な道路の整備」が 11.1%などとなっています。

「わからない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 20.8%、次いで「治水対策の推進」が 17.2%などとなっています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

「満足」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 12.6%、次いで「観光の振興」が 9.9%などとなっています。

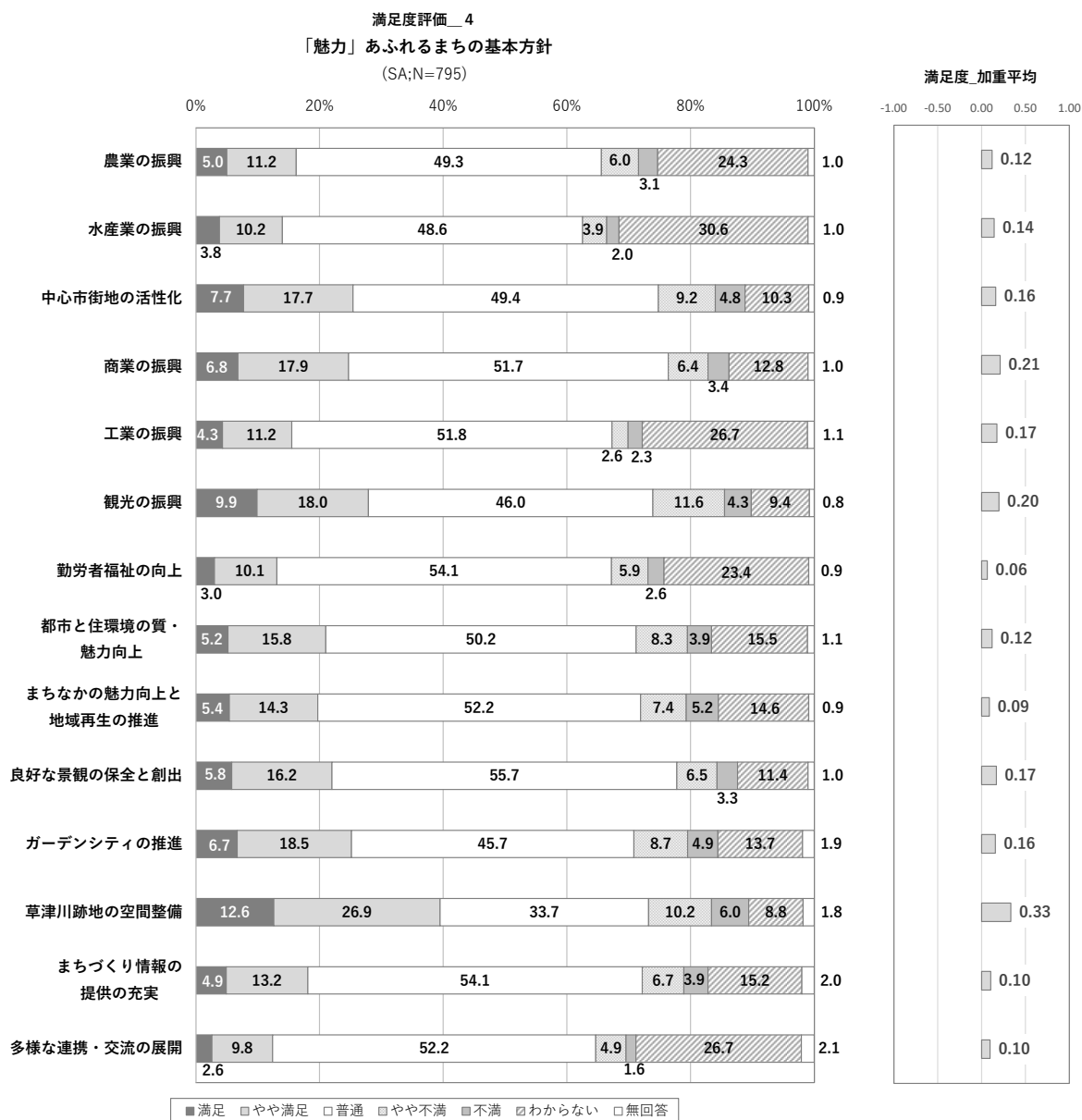
「やや満足」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 26.9%、次いで「ガーデンシティの推進」が 18.5%などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く 55.7%、次いで「勤労者福祉の向上」と「まちづくり情報の提供の充実」がそれぞれ 54.1%などとなっています。

「やや不満」は「観光の振興」が最も多く 11.6%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 10.2%などとなっています。

「不満」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 6.0%、次いで「まちなかの魅力向上と地域再生の推進」が 5.2%などとなっています。

「わからない」は「水産業の振興」が最も多く 30.6%、次いで「工業の振興」と「多様な連携・交流の展開」がそれぞれ 26.7%などとなっています。



⑤「未来」への責任の基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 8.3%などとなっています。

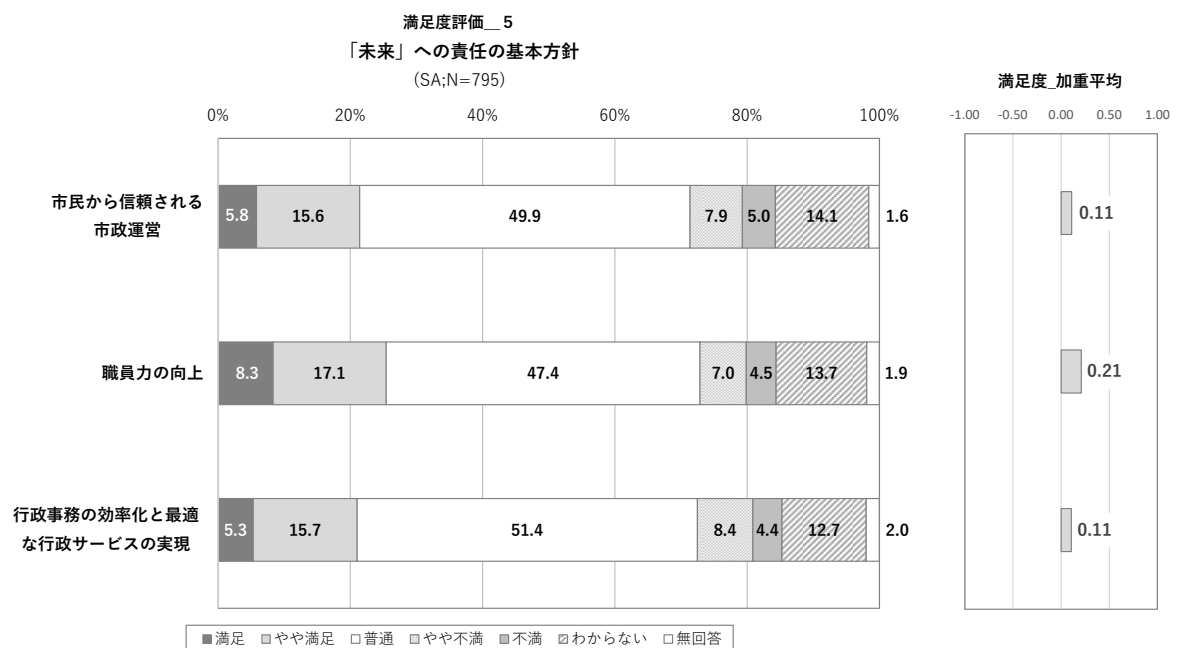
「やや満足」は「職員力の向上」が最も多く 17.1%などとなっています。

「普通」は「行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現」が最も多く 51.4%などとなっています。

「やや不満」は「行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現」が最も多く 8.4%などとなっています。

「不満」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 5.0%などとなっています。

「わからない」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 14.1%などとなっています。



⑥第6次草津市総合計画第2期基本計画において新たに設定する基本方針

「満足」は「子ども・若者を支える環境づくり」が最も多く 6.0%、次いで「安心して子どもを産み育てられる支援の充実」が 5.8%などとなっています。

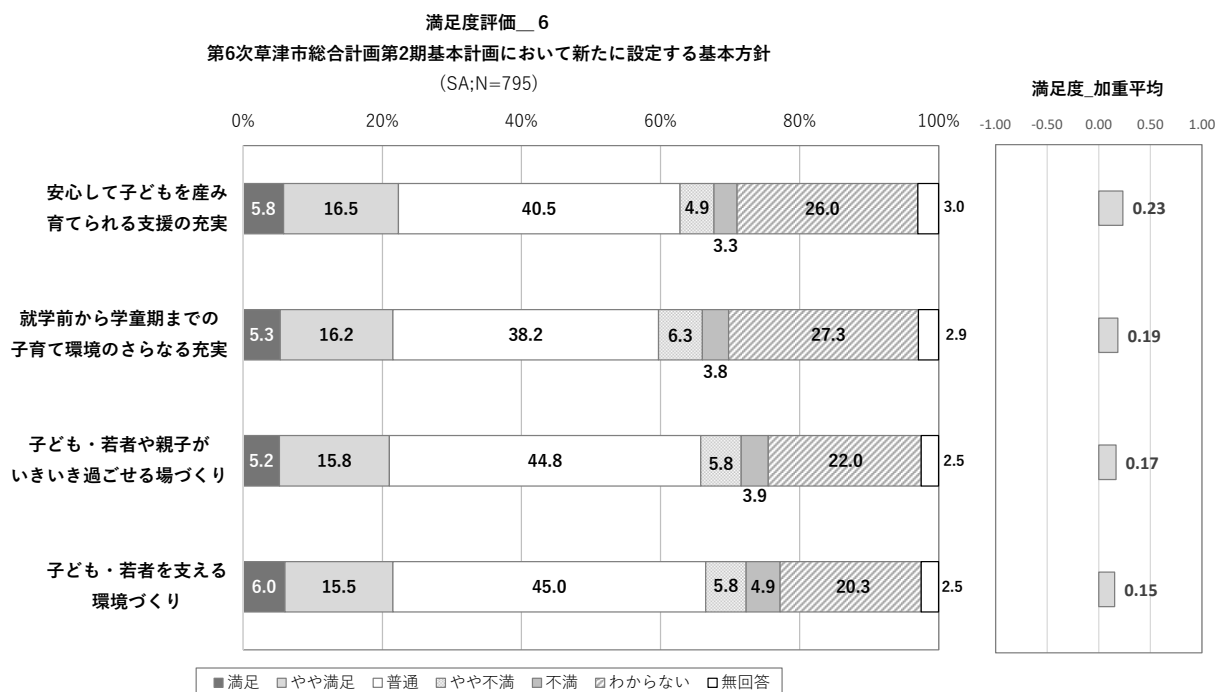
「やや満足」は「安心して子どもを産み育てられる支援の充実」が最も多く 16.5%、次いで「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」が 16.2%などとなっています。

「普通」は「子ども・若者を支える環境づくり」が最も多く 45.0%、次いで「子ども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり」が 44.8%などとなっています。

「やや不満」は「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」が最も多く 6.3%、次いで「子ども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり」と「子ども・若者を支える環境づくり」が 5.8%などとなっています。

「不満」は「子ども・若者を支える環境づくり」が最も多く 4.9%、次いで「子ども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり」が 3.9%などとなっています。

「わからない」は「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」が最も多く 27.3%、次いで「安心して子どもを産み育てられる支援の充実」が 26.0%などとなっています。



(3) 基本方針別にみる重要度評価

①「こころ」育むまちの基本方針

「思う」は「学校の教育力の向上」が最も多く 51.3%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 50.4%などとなっています。

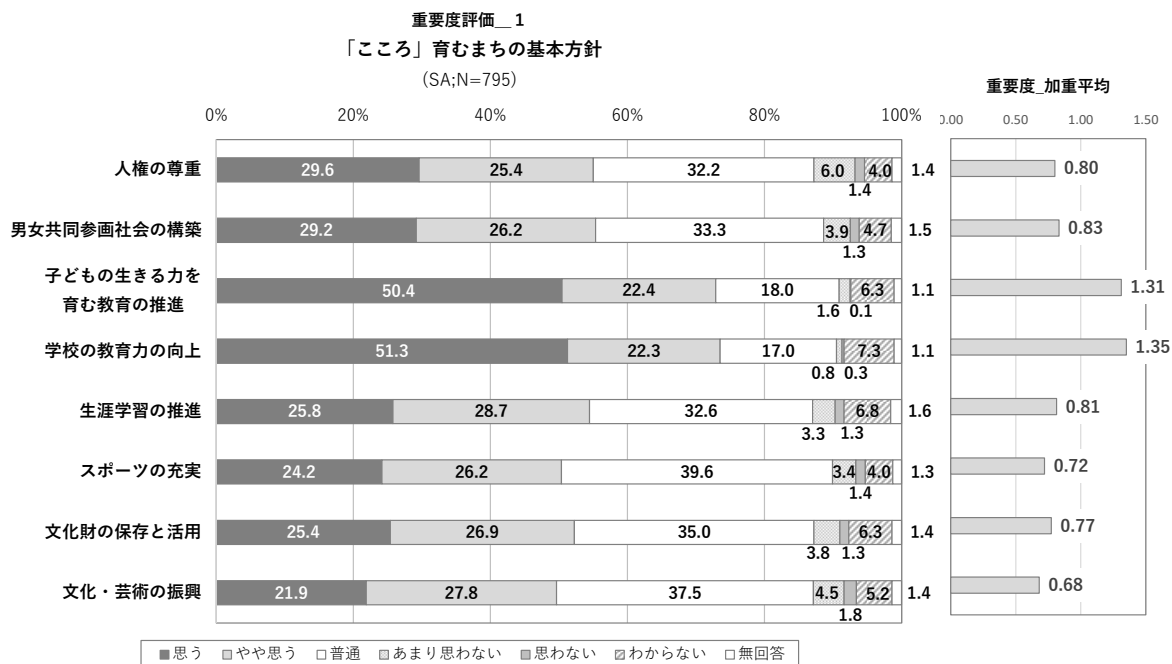
「やや思う」は「生涯学習の推進」が最も多く 28.7%、次いで「文化・芸術の振興」が 27.8%などとなっています。

「普通」は「スポーツの充実」が最も多く 39.6%、次いで「文化・芸術の振興」が 37.5%などとなっています。

「あまり思わない」は「人権の尊重」が最も多く 6.0%、次いで「文化・芸術の振興」が 4.5%などとなっています。

「思わない」は「文化・芸術の振興」が最も多く 1.8%、次いで「人権の尊重」と「スポーツの充実」がそれぞれ 1.4%などとなっています。

「わからない」は「学校の教育力の向上」が最も多く 7.3%、次いで「生涯学習の推進」が 6.8%などとなっています。



加重平均について：「思う (2)」「やや思う (1)」「普通 (0)」「あまり思わない (-1)」「思わない (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

②「笑顔」輝くまちの基本方針

「思う」は「安心して子育てができる環境づくり」が最も多く 49.4%、次いで「切れ目のない子育て支援」が 47.5%などとなっています。

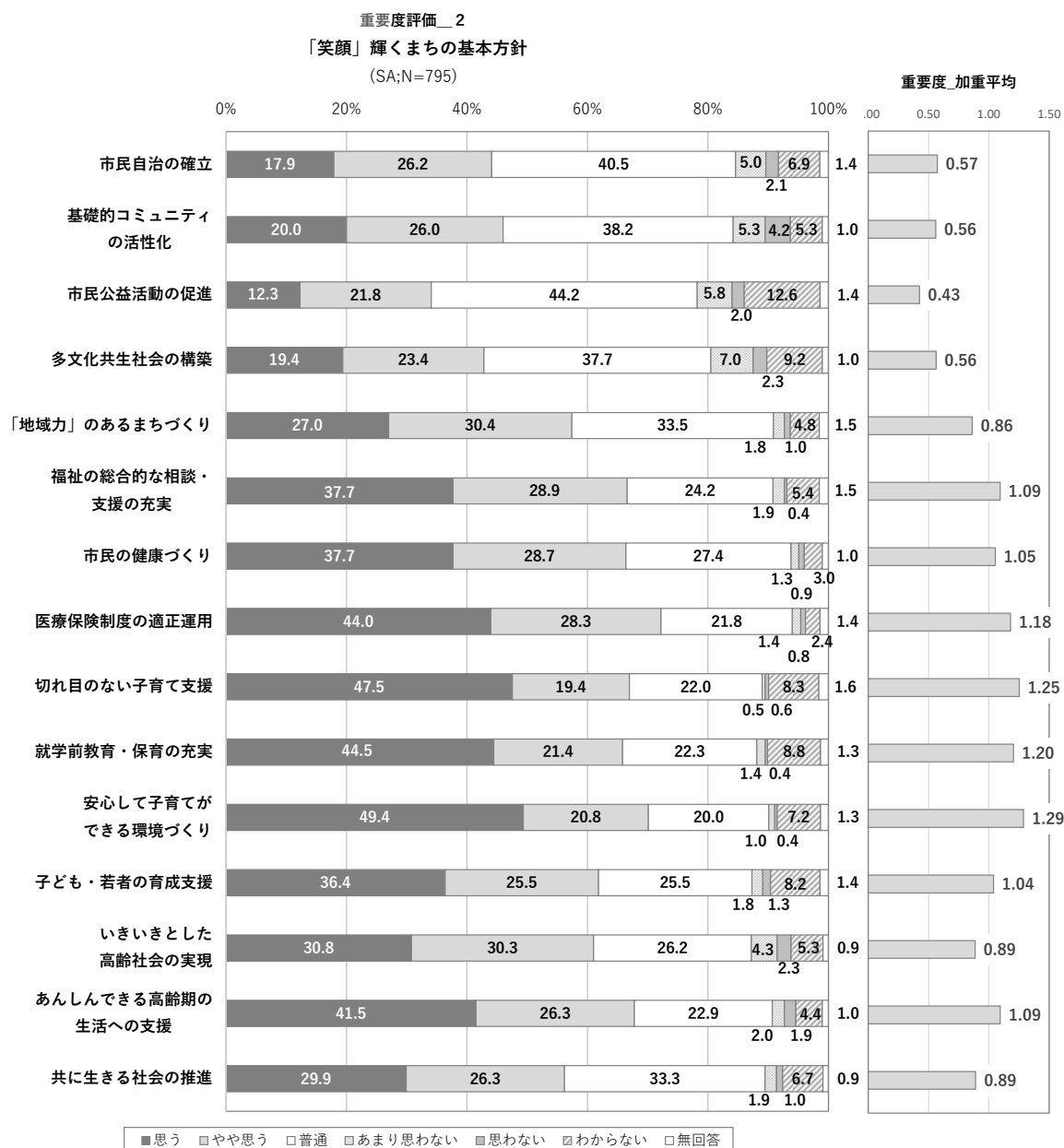
「やや思う」は『「地域力」のあるまちづくり』が最も多く 30.4%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」が 30.3%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 44.2%、次いで「市民自治の確立」が 40.5%などとなっています。

「あまり思わない」は「多文化共生社会の構築」が最も多く 7.0%、次いで「市民公益活動の促進」が 5.8%などとなっています。

「思わない」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く 4.2%、次いで「多文化共生社会の構築」と「いきいきとした高齢社会の実現」が 2.3%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 12.6%、次いで「多文化共生社会の構築」が 9.2%などとなっています。



③「暮らし」支えるまちの基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 54.1%、次いで「災害に強いまちづくり」が 49.9%などとなっています。

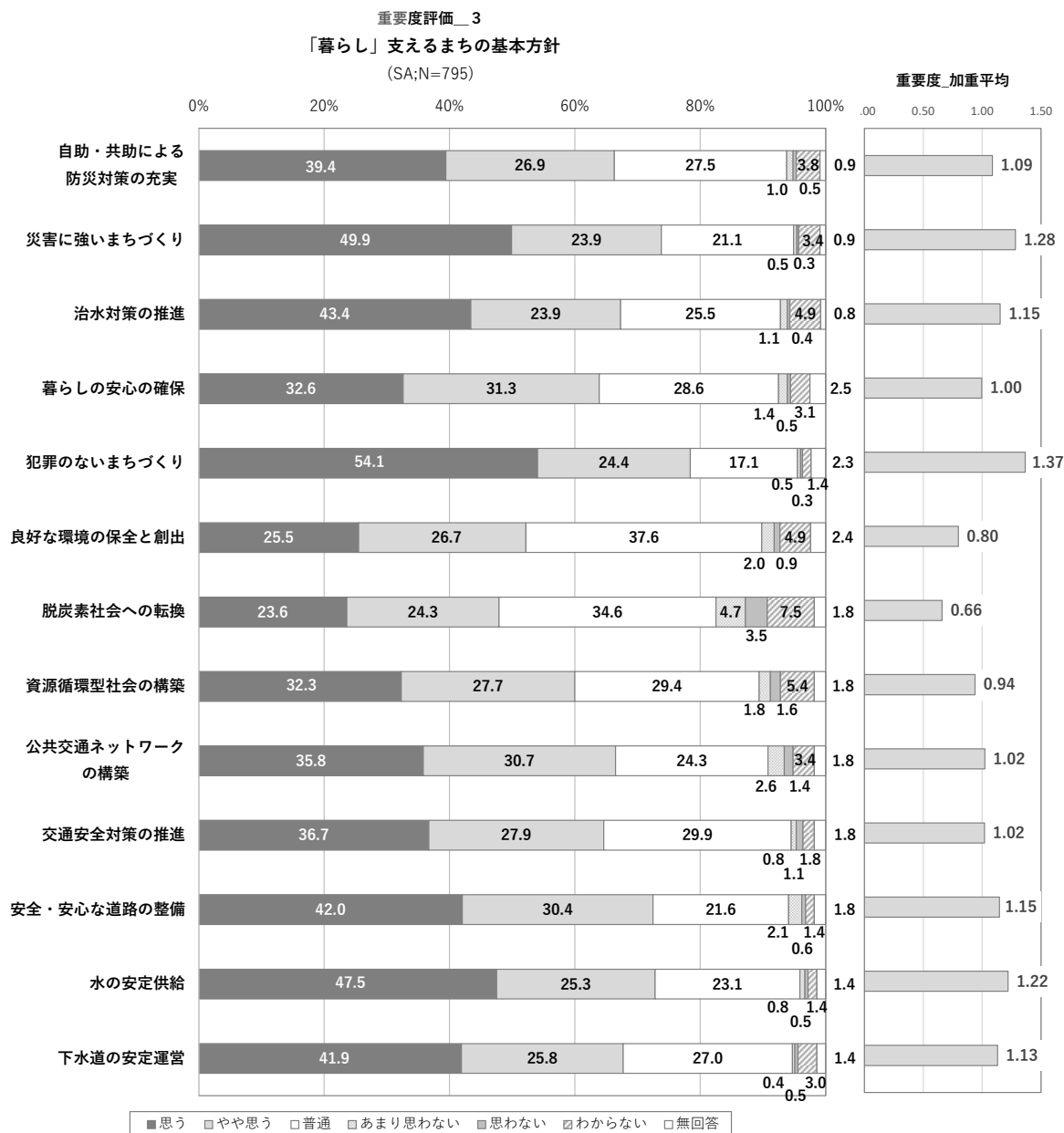
「やや思う」は「暮らしの安心の確保」が最も多く 31.3%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 30.7%などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 37.6%、次いで「脱炭素社会への転換」が 34.6%などとなっています。

「あまり思わない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 4.7%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 2.6%などとなっています。

「思わない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 3.5%、次いで「資源循環型社会の構築」が 1.8%などとなっています。

「わからない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 7.5%、次いで「資源循環型社会の構築」が 5.4%などとなっています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

「思う」は「農業の振興」が最も多く 28.4%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 27.2%などとなっています。

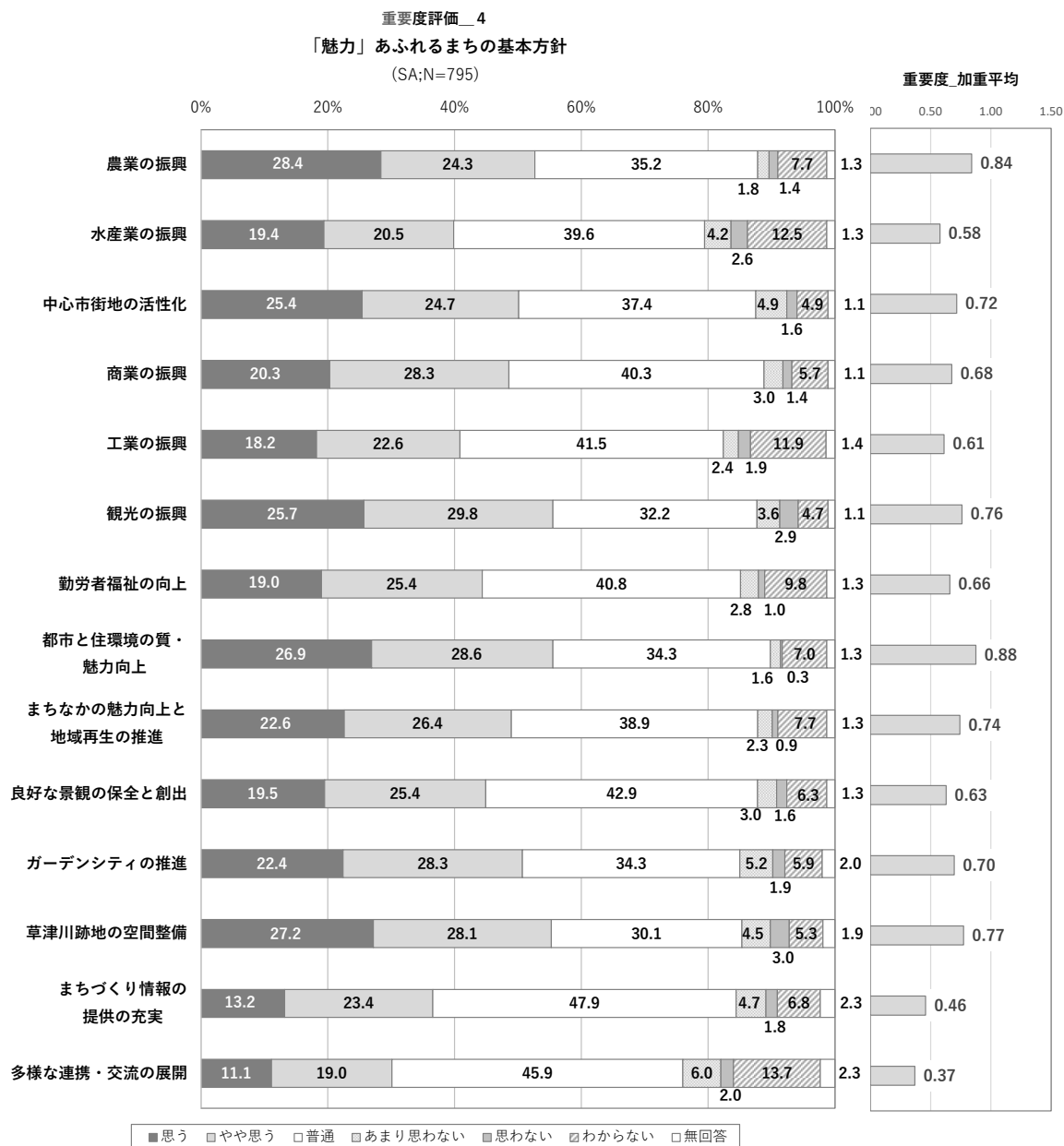
「やや思う」は「観光の振興」が最も多く 29.8%、次いで「都市と住環境の質・魅力向上」が 28.6%などとなっています。

「普通」は「まちづくり情報の提供の充実」が最も多く 47.9%、次いで「多様な連携・交流の展開」が 45.9%などとなっています。

「あまり思わない」は「多様な連携・交流の展開」が最も多く 6.0%、次いで「ガーデンシティの推進」が 5.2%などとなっています。

「思わない」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 3.0%、次いで「観光の振興」が 2.9%などとなっています。

「わからない」は「多様な連携・交流の展開」が最も多く 13.7%、次いで「水産業の振興」が 12.5%などとなっています。



⑤「未来」への責任の基本方針

「思う」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 34.5%などとなっています。

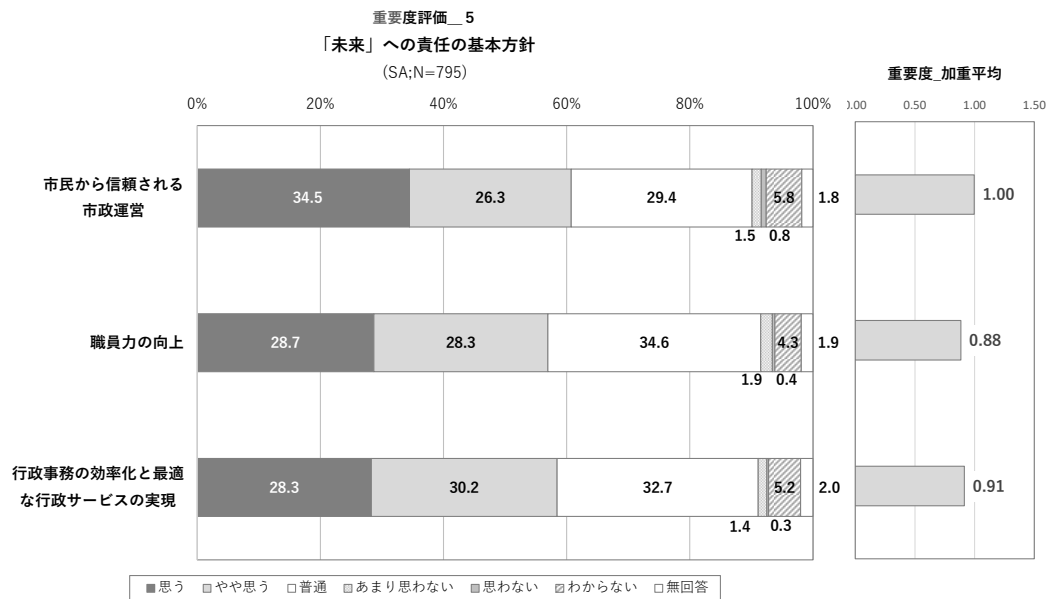
「やや思う」は「行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現」が最も多く 30.2%などとなっています。

「普通」は「職員力の向上」が最も多く 34.6%などとなっています。

「あまり思わない」は「職員力の向上」が最も多く 1.9%などとなっています。

「思わない」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 0.8%などとなっています。

「わからない」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 5.8%などとなっています。



⑥第6次草津市総合計画第2期基本計画において新たに設定する基本方針

「思う」は「安心して子どもを産み育てられる支援の充実」が最も多く 47.5%、次いで「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」が 45.5%などとなっています。

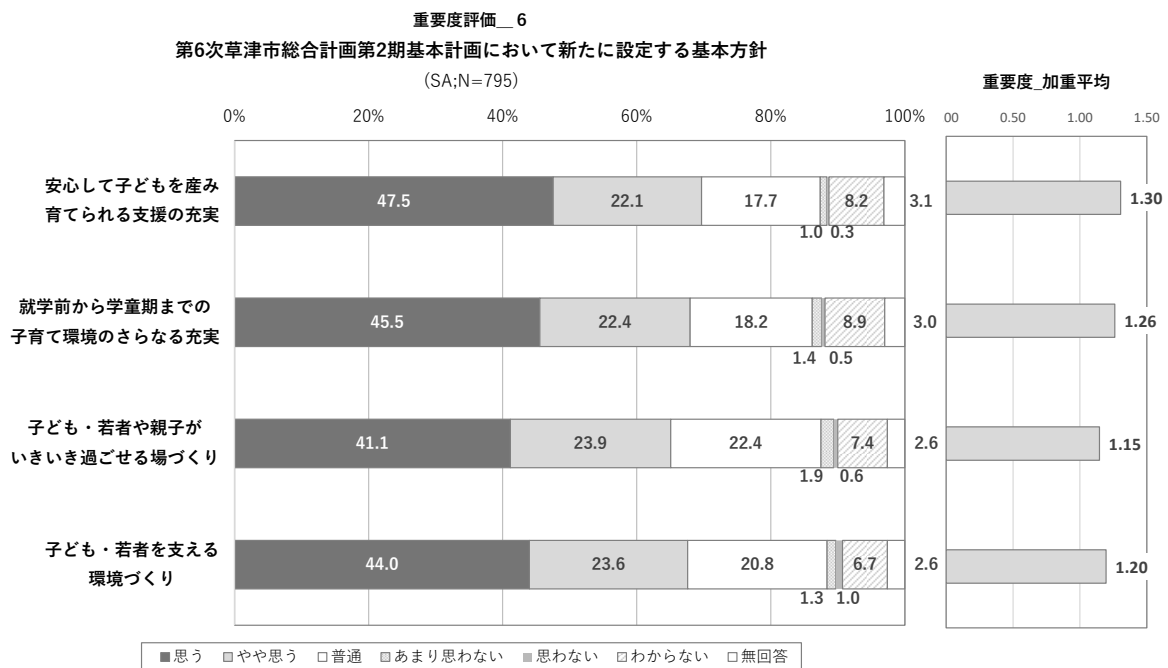
「やや思う」は「子ども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり」が最も多く 23.9%、次いで「子ども・若者を支える環境づくり」が 23.6%などとなっています。

「普通」は「子ども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり」が最も多く 22.4%、次いで「子ども・若者を支える環境づくり」が 20.8%などとなっています。

「あまり思わない」は「子ども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり」が最も多く 1.9%、次いで「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」が 1.4%などとなっています。

「思わない」は「子ども・若者を支える環境づくり」が最も多く 1.0%、次いで「子ども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり」が 0.6%などとなっています。

「わからない」は「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」が最も多く 8.9%、次いで「安心して子どもを産み育てられる支援の充実」が 8.2%などとなっています。

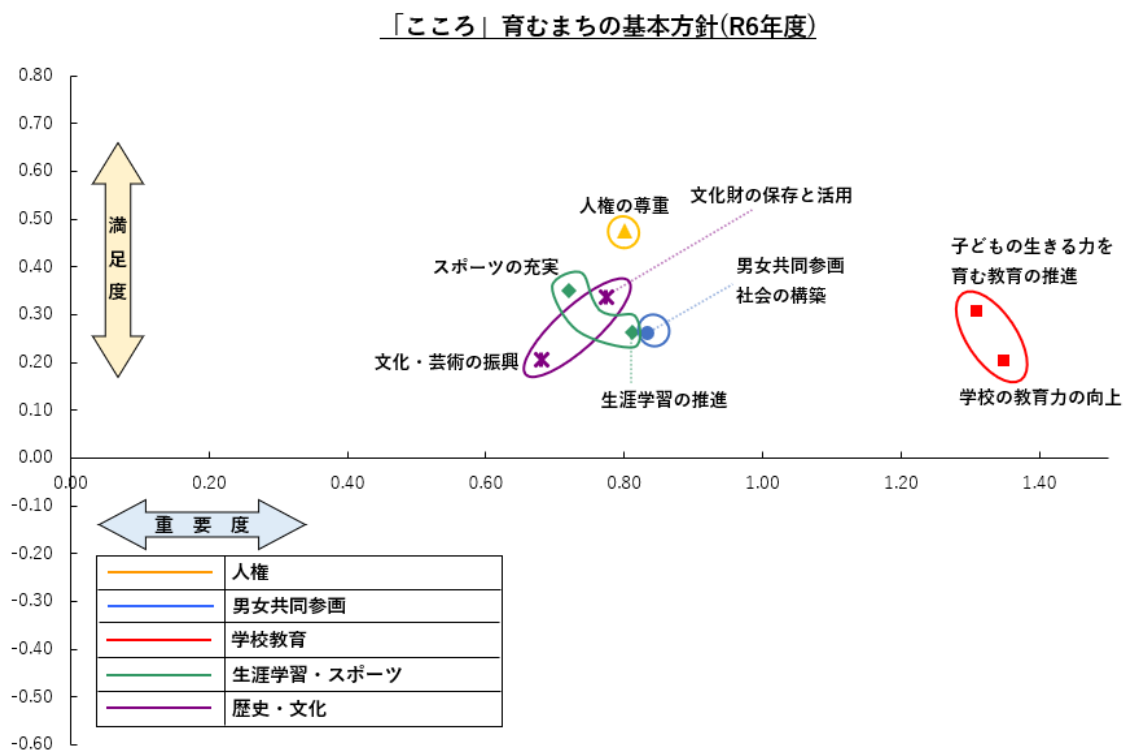


(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

①「こころ」育むまちの基本方針

「こころ」育むまちの基本方針のうち、「学校の教育力の向上」の分野は他の分野と比較し、重要度が最も高いですが、満足度はあまり高くありません。

また「人権の尊重」の分野では、重要度はそれほど高くありませんが、満足度は最も高いです。

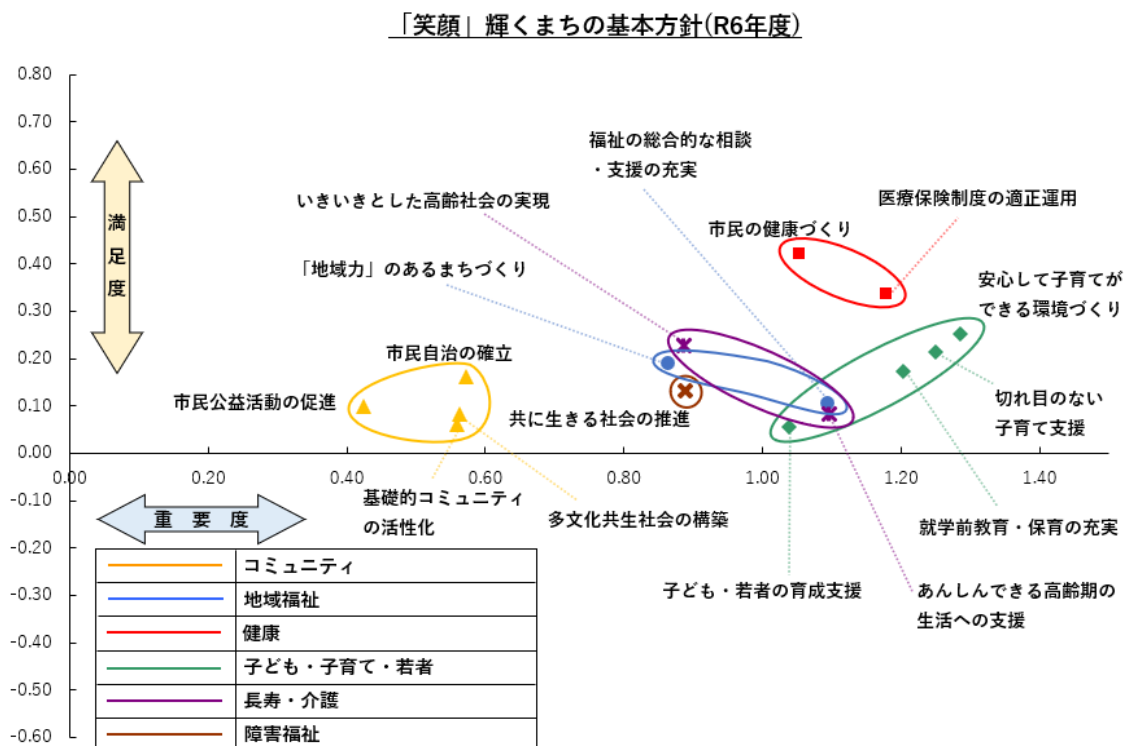


②「笑顔」輝くまちの基本方針

「笑顔」輝くまちの基本方針のうち、「子ども・子育て・若者」の分野では、他の分野と比較して重要度が高くなっているのに対し、満足度はあまり高くありません。特に「子ども・若者の育成支援」の満足度が低くなっています。

「健康」の分野は満足度・重要度ともに高くなっているのに対し、「コミュニティ」の分野は満足度・重要度ともに低くなっています。

「長寿・介護」と「地域福祉」の分野は共に支援について重要度は高いですが、満足度が低くなっています。

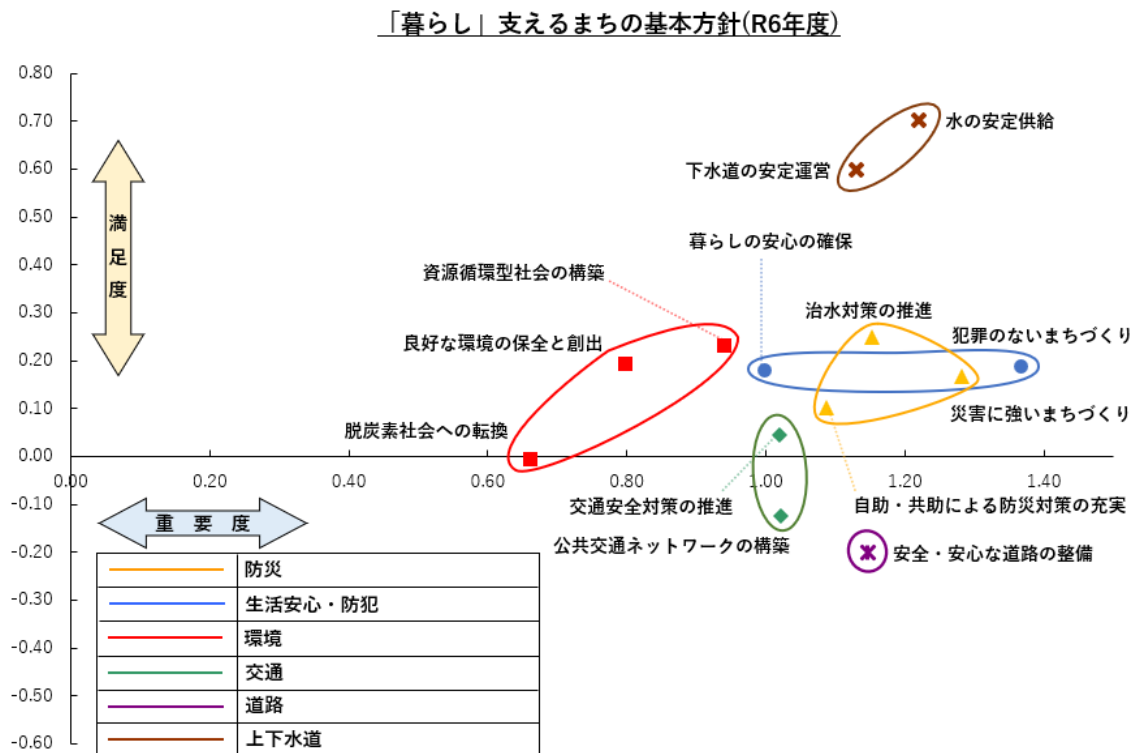


③「暮らし」を支えるまちの基本方針

「暮らし」を支えるまちの基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度が他の分野よりかなり高くなっています。

一方、「防災」の分野は、重要度が高いにもかかわらず、満足度は、あまり高くありません。

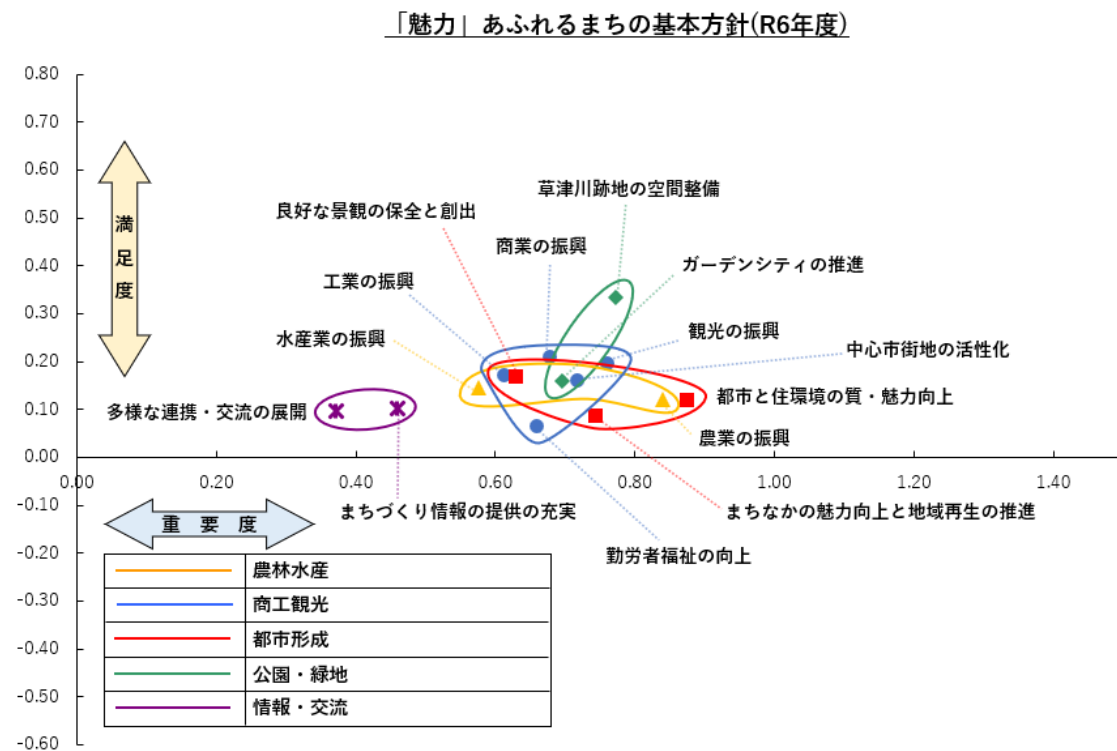
「交通」と「道路」の分野は、満足度がマイナスを示しています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

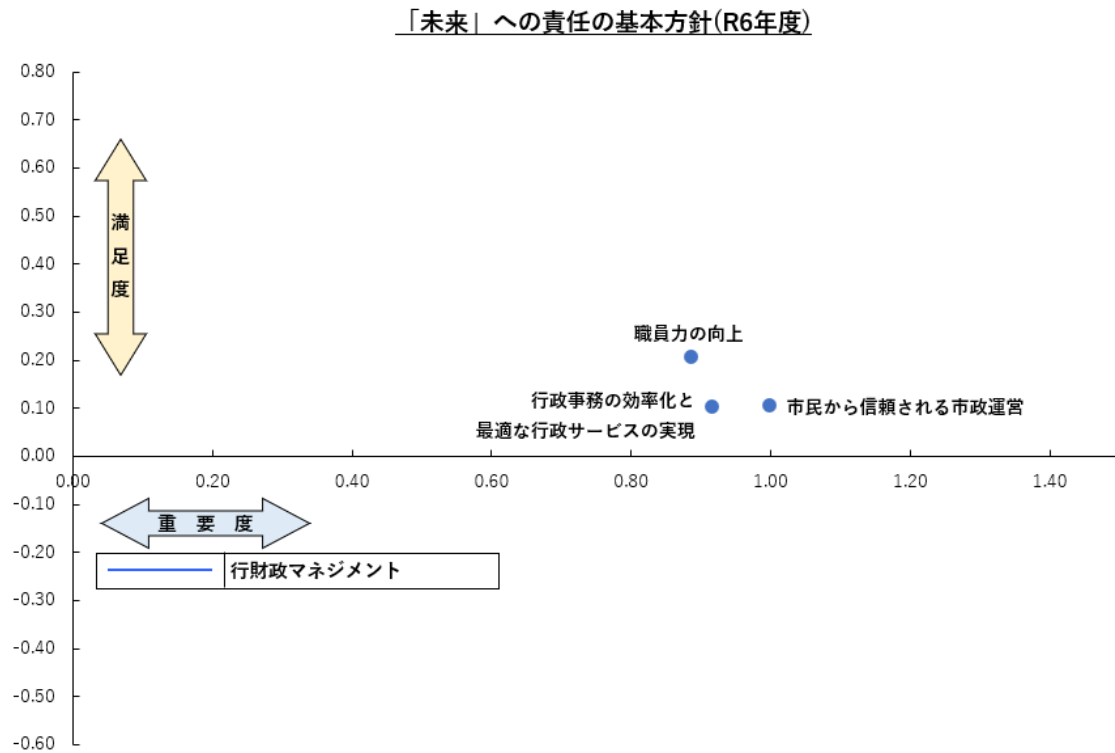
「魅力」あふれるまちの基本方針のうち、「公園・緑地」の分野では満足度が高く、「都市形成」の分野では重要度は高いですが、満足度が低くなっています。

「情報・交流」の分野では満足度、重要度ともに他の分野と比べてかなり低くなっています。

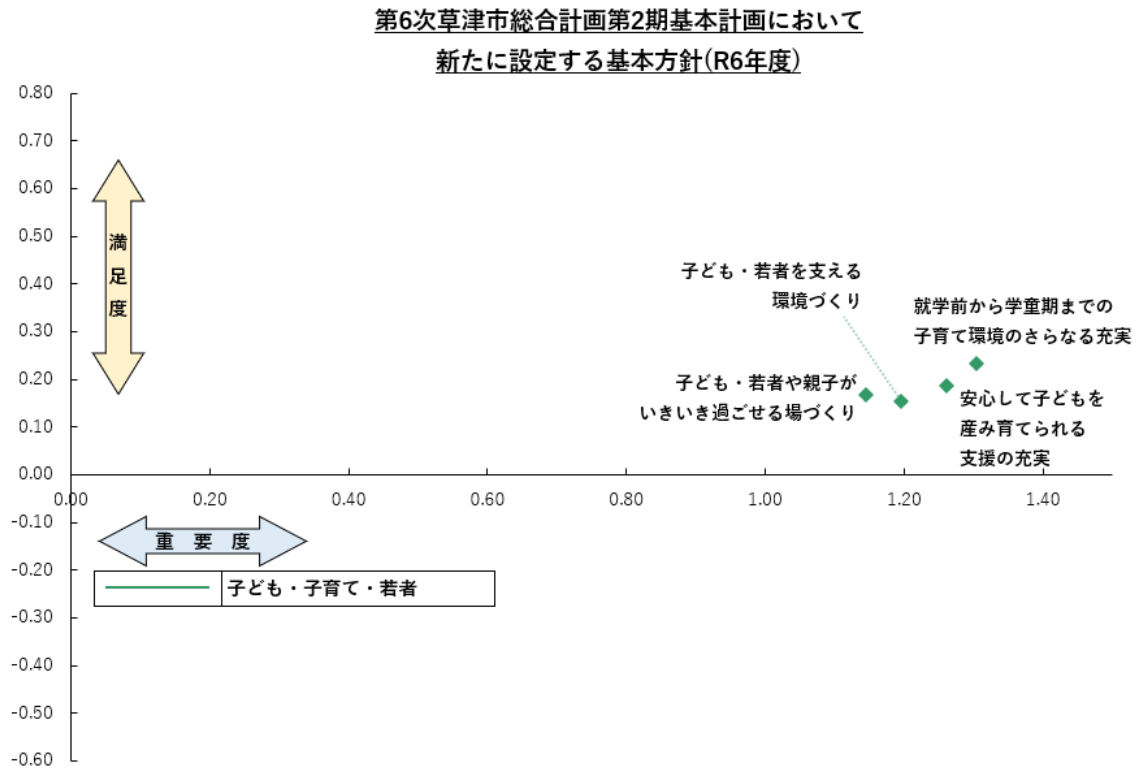


⑤「未来」への責任のための基本方針

「市民から信頼される市政運営」では重要度が高いのに対して、「職員力の向上」では満足度が高くなっています。



⑥第6次草津市総合計画第2期基本計画において新たに設定する基本方針
「子育て環境のさらなる充実」では重要度と満足度が共に高くなっています。



(5) まちの住み心地や日常の生活行動など

①まちの住み心地など

「そう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 45.9%、次いで「買物をする環境が整っている」が 38.4%などとなっています。

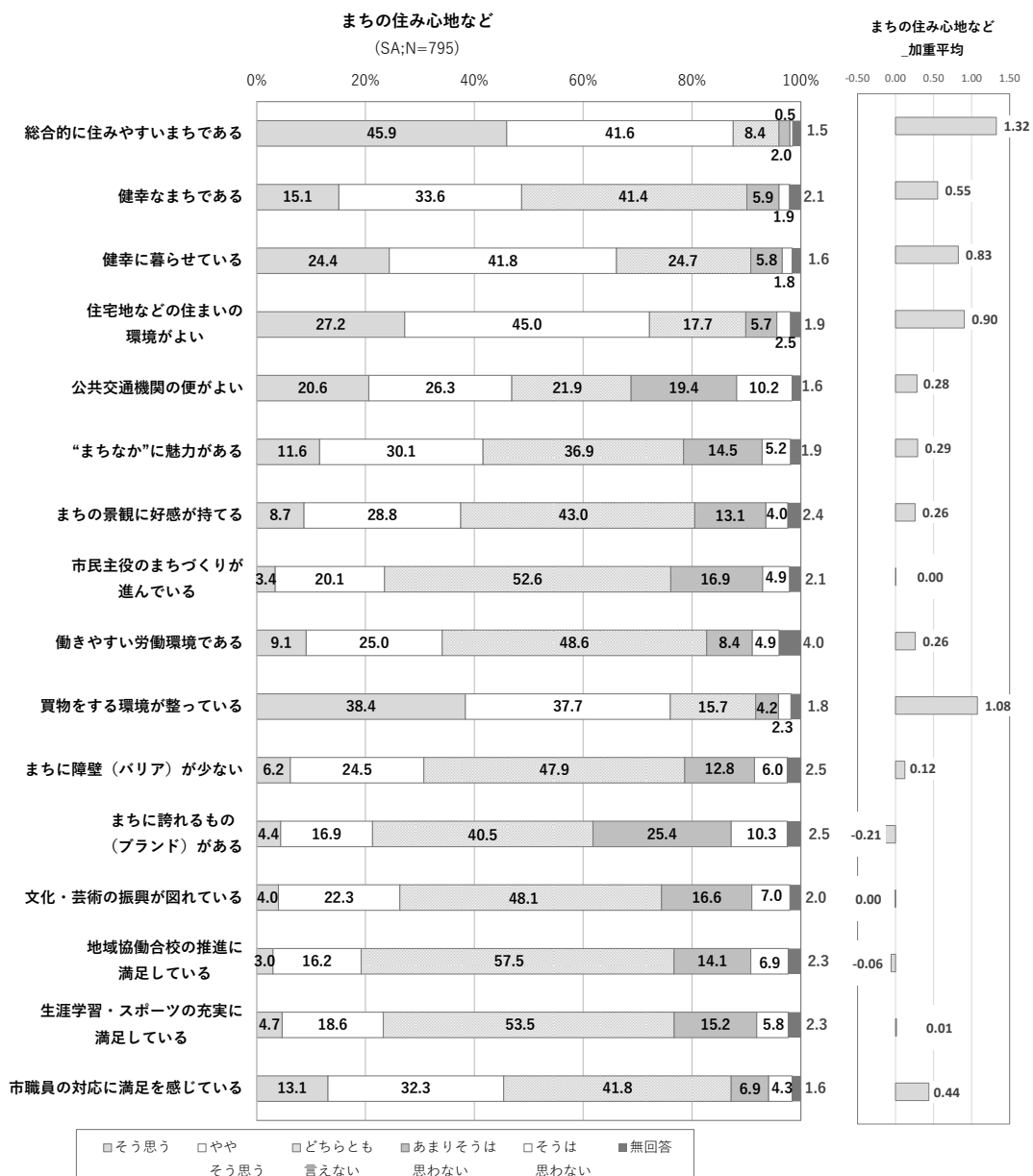
「ややそう思う」は「住宅地などの住まいの環境がよい」が最も多く 45.0%、次いで「健幸に暮らせている」が 41.8%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地域協働学校の推進に満足している」が最も多く 57.5%、次いで「生涯学習・スポーツの充実に満足している」が 53.5%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 25.4%、次いで「公共交通機関の便がよい」が 19.4%などとなっています。

「そうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 10.3%、次いで「公共交通機関の便がよい」が 10.2%などとなっています。

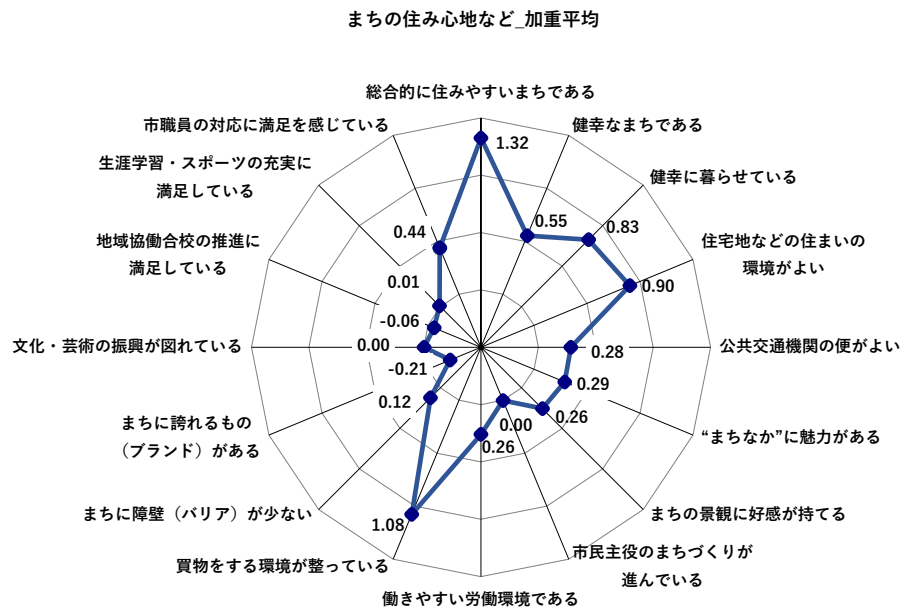
「総合的に住みやすいまちである」については、「そう思う」が最も多く 45.9%、次いで「ややそう思う」が 41.6%などとなっています。



【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「地域協働学校の推進に満足している」においては評価が低くなっています。



加重平均について：「そう思う（2）」「ややそう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそうは思わない（-1）」「そうは思わない（-2）」として全体の平均値を算出したものである。

②日常の生活行動など

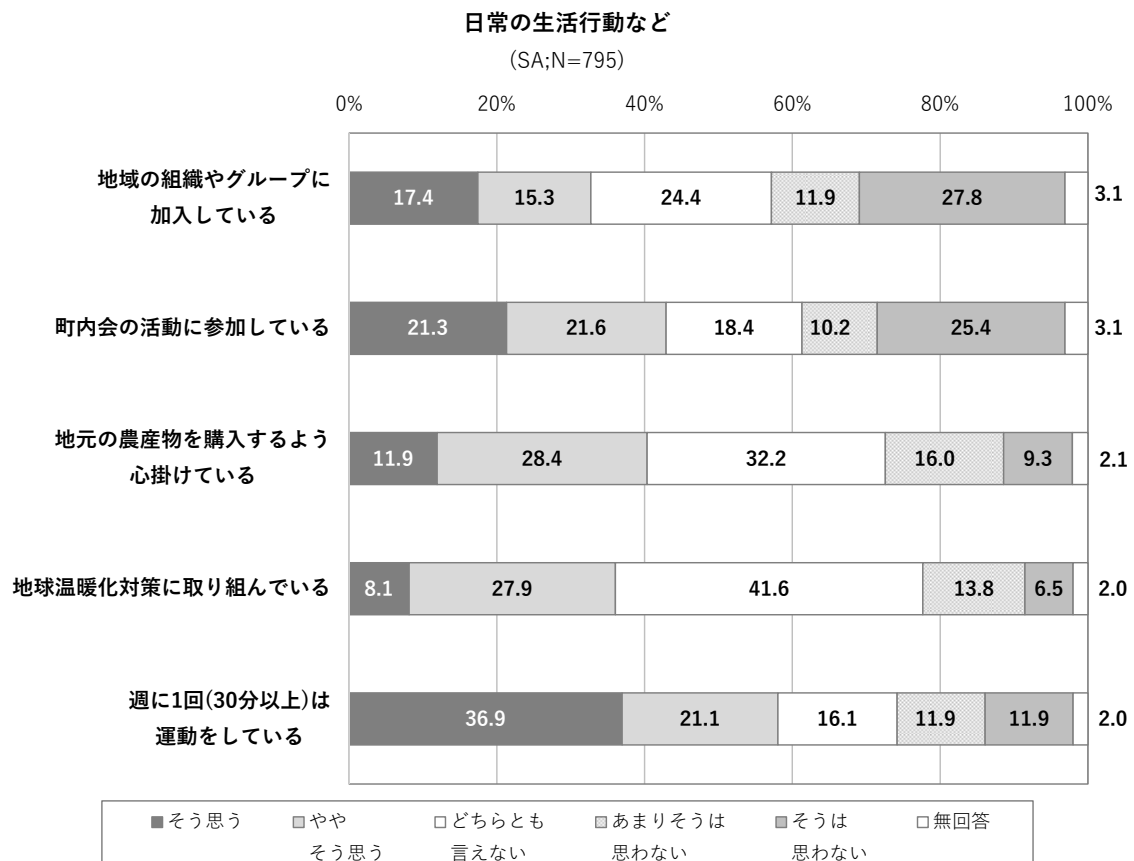
「そう思う」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く 36.9%、次いで「町内会の活動に参加している」が 21.3%などとなっています。

「ややそう思う」は「地元の農産物を購入するよう心掛けている」が最も多く 28.4%、次いで「地球温暖化対策に取り組んでいる」が 27.9%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く 41.6%、次いで「地元の農産物を購入するよう心がけている」が 32.2%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「地元の農産物を購入するよう心掛けている」が最も多く 16.0%、次いで「地球温暖化対策に取り組んでいる」が 13.8%などとなっています。

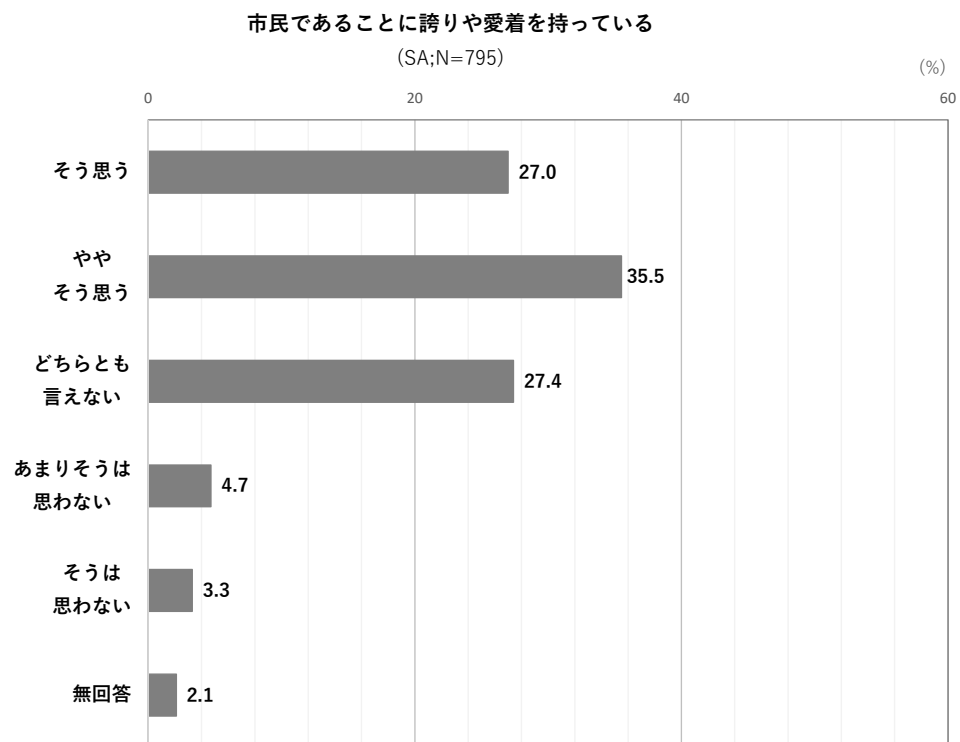
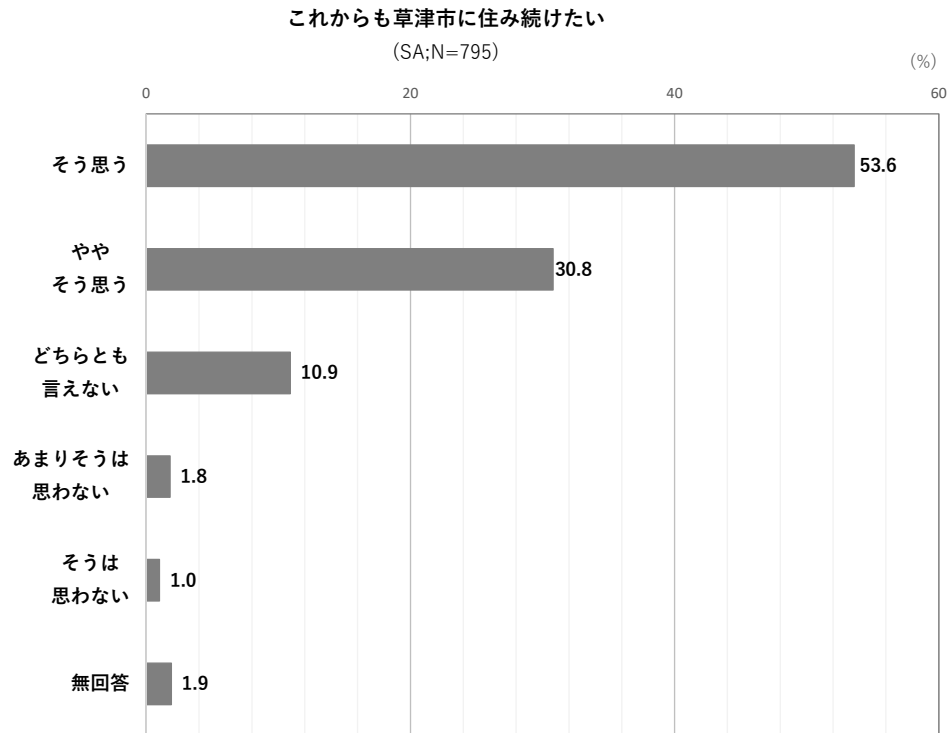
「そうは思わない」は「地域の組織やグループに加入している」が最も多く 27.8%、次いで「町内会の活動に参加している」が 25.4%などとなっています。



③市民であることの誇りや定住意向

「これからも草津市に住み続けたい」については、「そう思う」が最も多く 53.6%、次いで「ややそう思う」が 30.8%などとなっています。

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「ややそう思う」が最も多く 35.5%、次いで「どちらとも言えない」が 27.4%などとなっています。



（６）ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）

ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の１７の目標への関心

「すべての人に健康と福祉を」が最も多く 16.1%、次いで「住み続けられるまちづくりを」が 13.8%、「気候変動に具体的な対策を」が 8.2%などとなっています。

